

■人材育成等に関する目的（公立諏訪東京理科大学学則より抜粋）

学部・学科	人材育成等に関する目的
工学部	幅広い教養と倫理観を有し、かつ専門分野に関して専門家としての基礎力および応用力、また、それらに基づく思考力・判断力・表現力を備え、さらに技術者に必要な経営戦略などのマネジメント力とグローバル化に対応可能な語学力、行動力、自ら主体性を持ちつつ多様な人と協働できる能力を有して、国内外の各分野で活躍できる技術者の育成を目的とする。
情報応用工学科	社会の情報化、通信機能や深層学習等の高度化の進むこれからの社会において、人工知能、医用・健康・センシング、ビッグデータ、インターネット、画像・音響・情報、情報通信、ソフトウェアデザイン、メディア表現などの情報応用に関する最先端技術の研究・開発や、その技術を応用した製品開発ができ、かつ情報の収集・分析・蓄積などを担う高度な情報処理システムの構築技能も修得した技術者の育成を目的とする。
機械電気工学科	高度な制御機能を備えたロボットやスマートモビリティ、さらには自動運転車等に関する研究開発が活発化し、実社会への導入も間近になっているこれからの社会において、従来の「ものづくり技術」に加え、新たに革新的材料・モノづくりや統合安全・安心などの機械系技術とセンシングデバイス、リニア・磁気浮上などの電気系の技術、さらには両者を融合した技術領域であるロボット・制御、環境エネルギーマネジメント、航空・宇宙、先進自動車などに関する最先端技術の研究・開発や、その技術を応用した製品開発ができ、かつハード面だけでなく、情報や通信に関連したソフト面の知識と技能も修得した技術者の育成を目的とする。

区 分	人材育成等に関する目的
<p>共通・マネジメント 教育センター</p>	<p>全学生に対し、基盤となる教育を横断的に実施する機関として、工学の専門科目を学ぶ上での基礎となる数学や物理などの「工学基礎教育」、学生が将来、技術者として社会で活躍する際に必要不可欠なマネジメント力を強化する工学と経営学の融合教育としての「マネジメント教育」、英語を中心にグローバル社会で活躍するベースとなる語学やコミュニケーション力を養う「語学教育」、地域社会との連携の下で、地域社会の様々な課題に向き合い、課題解決力を養う「地域連携教育」、および、社会人として常識ある判断や行動ができるよう多様な知識を習得させる「一般教育」を行うことを目的とする。</p>